

第5回 さかい子ども食堂 円卓会議

日 時：平成30年11月6日（火）13：30～15：30

場所：堺市総合福祉会館4階 第3会議室

★参加者紹介

★趣旨説明

★JA 堺市応援プロジェクト



さかい子ども食堂円卓会議

さかいの子ども食堂の実践の推進にむけて参加者全員が知恵をだしあい今後の方向性や、しくみづくりを考えるとこ。子ども食堂の羅針盤。大切なのは、自主・自由・活発・協働！

職種や肩書を越えて 子ども食堂のこれからを語りましょう！

・ ・ 話題提供 と わかちあい ・ ・

さかい子ども食堂ネットワークにおける多様な実践や
他市の実践等をきいて、

これからの子ども食堂について

ひとりひとりが主体的に 考えましょう♪

<今後の予定>

・フードドライブ仕分け：11月12日（月）

13：00～15：00 ふーどばんく OSAKA

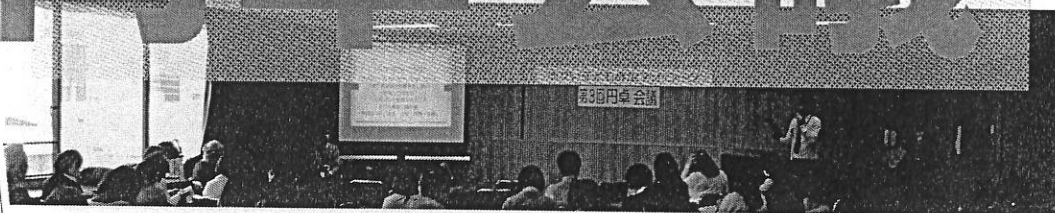
※参加を希望される団体は、事務局までお問い合わせください

・第6回円卓会議：平成30年2月開催予定

2018年11月6日（火）

第5回 さかい子ども食堂

円卓会議



「堺市における子ども食堂の実践の
これまでと、これから」

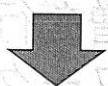
さかい
子ども食堂
ネットワーク



さかい子ども食堂

円卓会議の意味

●さかいの子ども食堂の実践の推進にむけて、参加者全員が知恵をだしあい今後の方向性や、しくみづくりを考えるところ。子ども食堂の羅針盤。



大切なのは、

自主・自由・活発・協働！

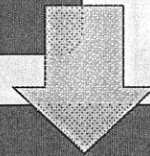
職種や肩書を越えて

子ども食堂のこれからを語りましょう！

今回の円卓会議のねらい

①これまでの振り返り・話題提供

活動を分かち合い、ネットワークの
いまを情報共有する



②交流タイム

肩書や職種を越えて、子ども食堂の
これからを語り合う

**ともにネットワークの広がり・深まりを考えながら
良い出会い、協働の関係づくりの場にしましょう!**

JA堺市

さかい子ども食堂ネットワーク 応援プロジェクト2018

JA堺市が、さかい子ども食堂ネットワークに加盟する子ども食堂の活動を応援するために、物品の寄贈を行う「さかい子ども食堂ネットワーク応援プロジェクト2018」を実施します。

JA堺市からの応援プロジェクト

さかい子ども食堂ネットワーク 応援プロジェクト2018

寄贈メニュー

1 大型炊飯器～マイコン2升炊き～

・衛生用品（ノータッチ式ディスペンサー）
・増特産「ヒノヒカリ」10キロ・業務用消火器



2 冷凍冷蔵庫～270L～

・衛生用品（ノータッチ式ディスペンサー）
・増特産「ヒノヒカリ」10キロ・業務用消火器



3 電子オーブンレンジ～30L～

・衛生用品（ノータッチ式ディスペンサー）
・増特産「ヒノヒカリ」10キロ・業務用消火器



4 タブレットPC～10.1インチ～

・衛生用品（ノータッチ式ディスペンサー）
・増特産「ヒノヒカリ」10キロ・業務用消火器



※実際の寄贈品は掲載された商品と異なる場合があります

対象：さかい子ども食堂
ネットワーク加盟団体
申し込み：さかい子ども食
堂ネットワーク事務局
申込用紙に記入の上、11月
16日（金）までに提出
ノータッチ式ディスペンサー
業務用消火器
増特産
「ヒノヒカリ」

お問い合わせ先：さかい子ども食堂ネットワーク事務局
TEL：072-232-5420 FAX：072-221-7409

J A 堺市

さかい子ども食堂ネットワーク 応援プロジェクト2018

①大型マイコン
炊飯器



②冷凍冷蔵庫



③電子オーブン
レンジ



④タブレットP C



ネットワークに加盟する1団体につき、左の①～④の
寄贈メニューからご希望する1つをお申込みできます。

《すべてのメニューに共通して、以下の物品も寄贈されます》

- ・衛生用品（ノータッチ式ディスペンサー）
- ・堺特産「ヒノヒカリ」10キロ
- ・業務用消火器

【受付・お問い合わせ先】

さかい子ども食堂ネットワーク事務局
（堺市社会福祉協議会 地域福祉課 地域共生推進係）
T E L : 072-232-5420 F A X : 072-221-7409

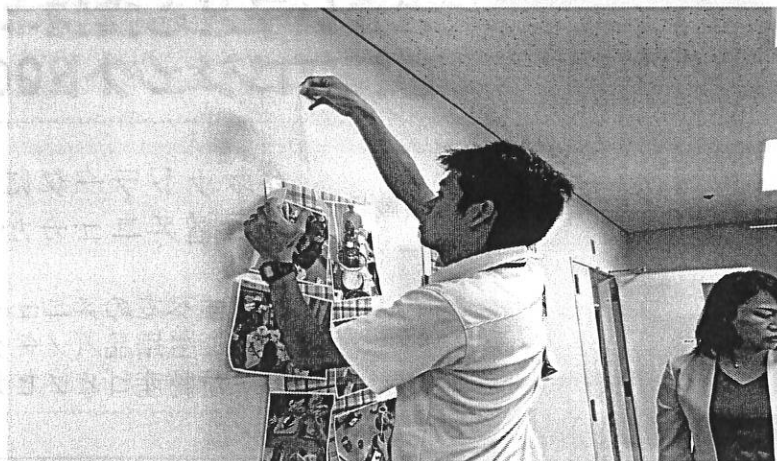
【募集期間】

2018年10月19日～2018年11月16日（当日消印有効）

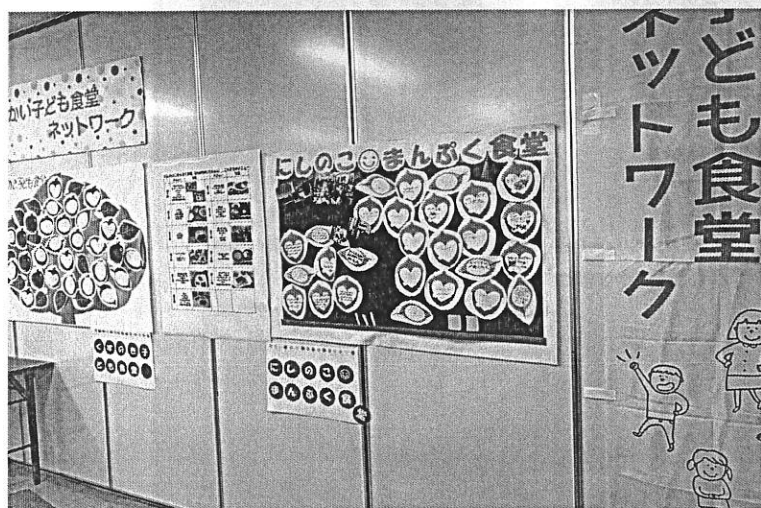
お急ぎください！



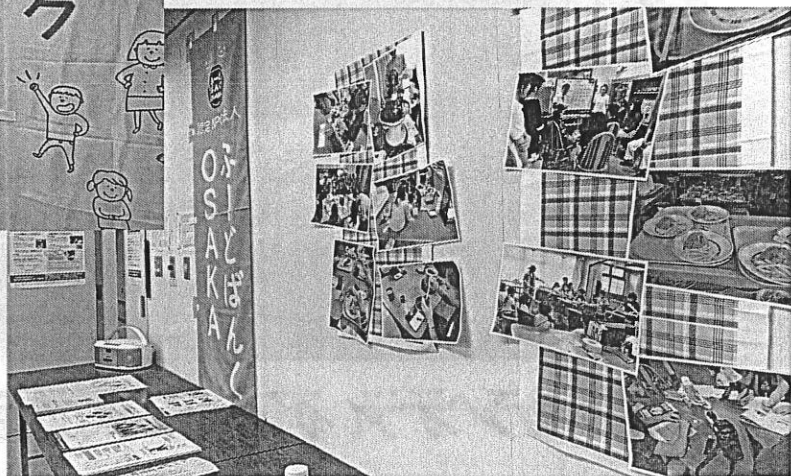
さかいボランティア・市民活動フェスティバル



テーマ別討論会「さかいで広がる子ども食堂 私達にできることってなんだろう？」は、にしのか☺まんぷく食堂、みんな食堂、ハート食堂、くすのき子ども食堂とともに企画・実施をしました！各テーブルに子ども食堂の実践者がはいり、少人数で意見交換のできるプログラムにしました♪

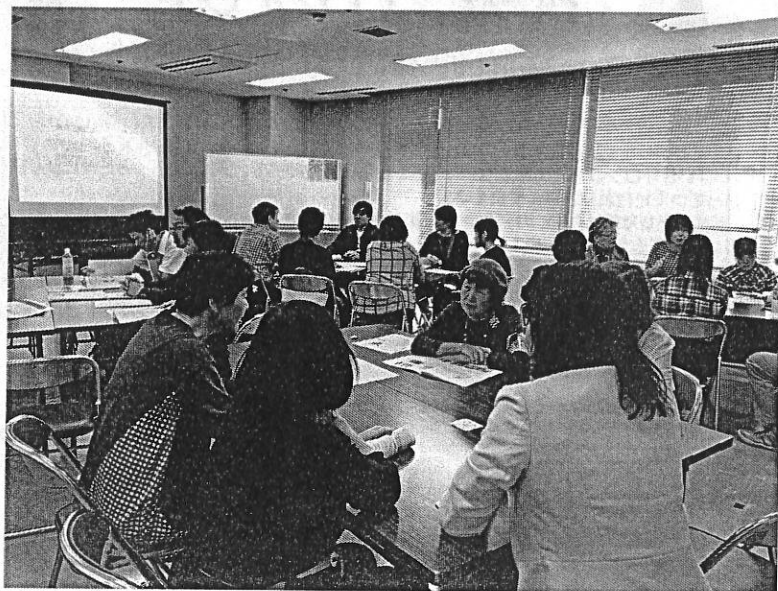


子ども食堂の写真をはって
参加者にイメージしてもらいます

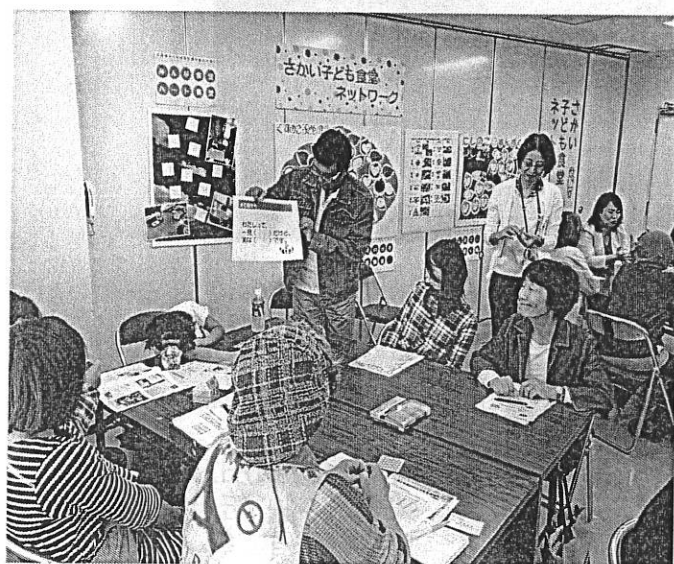


子ども食堂にくる親子の声 ♪

本音トークで 話し合う28名の参加者たち



「皆さんの一生懸命の活動に元気をもらえました」



「私たちの活動に取り入れたいと思うものが
あったので、帰ったら皆さんと話し合います」



「参加者の強い想いを地域住民に伝えるよう
な取り組みが必要だと感じた」



子ども
食堂

マリリンの家 折り紙プロジェクト



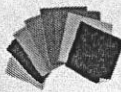
2万羽の折り鶴をいっしょにつくろう

東日本大震災で亡くなられた方々の鎮魂の想いを込め、マリリンの家の『集いの場』では、2万羽の折り鶴の完成をめざし、少しずつ折っています。今回、北区内の『ふれあい喫茶』『いきいきサロン』『子育てサロン』など様々な集いの場で、少しでも多くの方々に折り鶴を折っていただければと考えています。

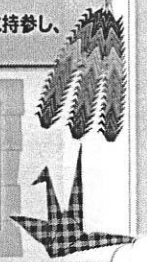
完成した折り鶴は、3月11日に東北で開催される東日本大震災の追悼行事に持参し、奉納する予定です。どうぞ、ご理解いただき、ご協力よろしくお願いします。

MUJI
無印良品

イオンモール北花田の無印良品さんが
2万枚の折り紙を無料提供してくれました



【マリリンの家での折り鶴作成の様子】



第2弾 さかい子ども食堂ネットワーク 子ども食堂を応援するフードドライブ

さかいボランティア・市民活動フェスティバル2018 当日

感謝

10月22日（月）
～27日（土）6日間

多くの気持ちが
集まりました

郵送による寄
附も3名から届
きました。



市長も来られました！



主な内容
お米...約280kg
カレールー
調味料、食用油
ソーメン、缶詰
お菓子類 等

累計
93人

460kg
550品

寄付者

物品

第2弾 さかい子ども食堂ネットワーク
子ども食堂を応援するフードドライブ

感謝

「第6回 笑顔あふれるドッジボール大会」会場内

11月3日（土）
J-GREEN堺
多くの気持ちが
集まりました

累計
38人

（チームや
団体を含み
ます）

162kg
357品

寄付者

物品



お米、レトルト食品、食
用油、調味料、缶詰・菓子
類などが集まりました！

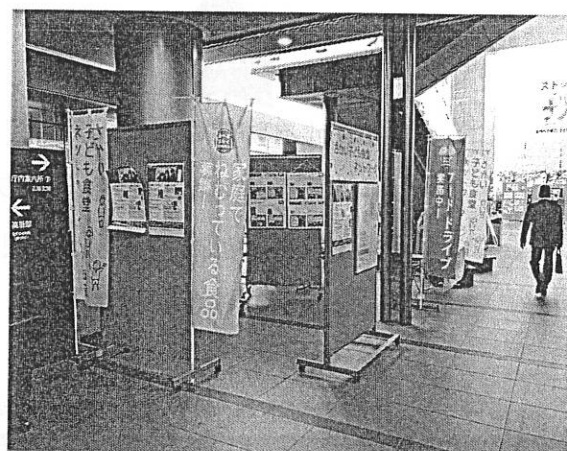


第2弾 さかい子ども食堂ネットワーク
子ども食堂を応援するフードドライブ

11月5日（月）～11月7日（水）

堺市役所1階で実施しています。

ぜひ、食材寄付にご協力ください！



中区の地域を元気に



中区の子どもを笑顔に

いつつ★ぼし

- ★ 2018.9月に生まれた中区子ども食堂のネットワーク
- ★ 中区スマイル食フェスタ（2018.11/4）への参加がキッカケ
- ★ 中区内の子ども食堂5団体が中心となり発足⇒いつつ★ぼし

団体

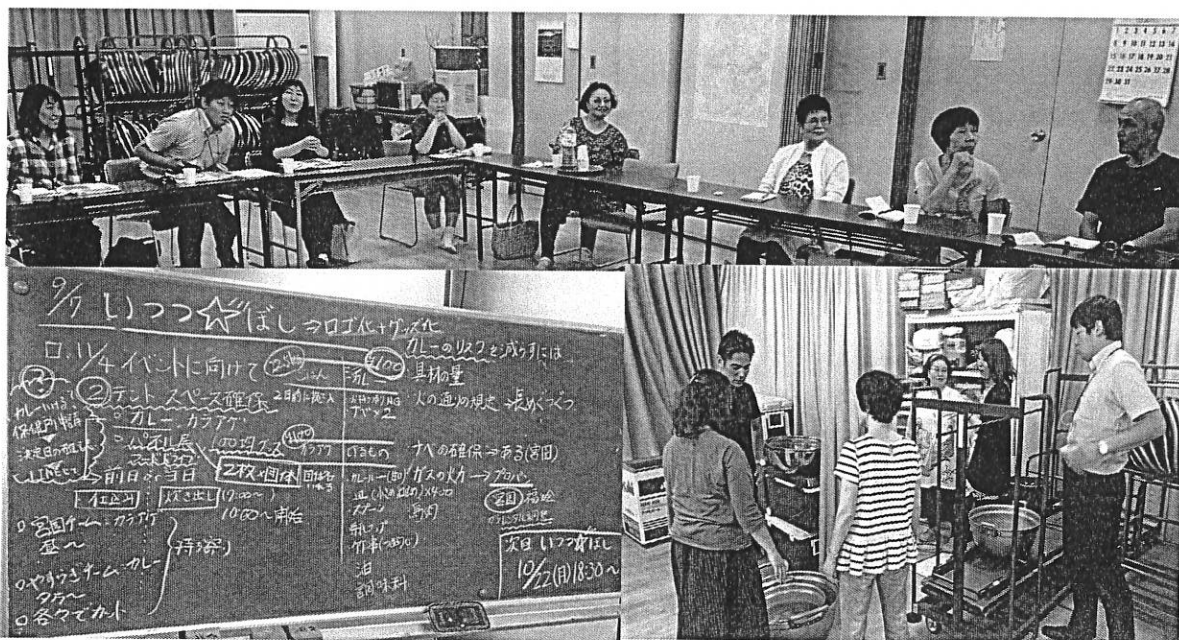
- 早起きして朝ごはん食べよう会
- みんなの食堂in福生会 ★リーダー
- 東深井つどいば食堂「ふらっと」
- 子どもみんなの食堂 夢ハウス
- つどい食堂

目的

子ども食堂の啓発
実施団体同士のつながりづくり
応援者とのネットワークづくり
仲間づくり

他、株式会社フロンティア 社会福祉法人_稲穂会

いつつ★ぼしで話し合っている様子



17

いつつ★ぼし はじめての合同作業

11/4 中区スマイル食フェスタin宮園



中区スマイル食フェスタ？

中区内の事業所や法人が中心となって、こどもから高齢者、障害の有無に関わらず、みんなが楽しめる地域交流イベント。毎年開催で今回で3回目となる。

- ★カレー：¥100
- ★からあげ：¥100
- ★パネル展示
- ★子ども食堂応援募金

※報告※

合計約700食：完売
複数人がパネル閲覧
多数の方が応援募金

18



大阪府

子ども食堂コンシェルジュ事業について

特定非営利活動法人SEIN

湯川 まゆみ

大阪府内の子ども食堂

279ヶ所 (平成30年4月1日現在)

大阪市	95	茨木市	11	羽曳野市	4	島本町	2
堺市	30	八尾市	13	門真市	7	豊能町	—
岸和田市	9	泉佐野市	5	摂津市	3	能勢町	—
豊中市	16	富田林市	7	高石市	3	忠岡町	1
池田市	5	寝屋川市	8	藤井寺市	—	熊取町	1
吹田市	3	河内長野市	—	東大阪市	1	田尻町	—
泉大津市	5	松原市	4	泉南市	—	岬町	—
高槻市	—	大東市	6	四條畷市	2	太子町	3
貝塚市	3	和泉市	1	交野市	2	河南町	—
守口市	3	箕面市	2	大阪狭山市	1	千早赤阪村	—
枚方市	22	柏原市	1	阪南市	—		

大阪府子ども食堂コンシェルジュ事業とは

1. 相談対応

→子ども食堂を立ち上げたい。

→運営に困っている。

2. 各地での研修や円卓会議等の実施

→北摂・河内・泉州ブロックに分かれ、研修や円卓会議の実施

3. 近隣市町村社会福祉協議会・大学ボランティアセンター等と連携した子ども食堂の運営者とボランティアのマッチング

大阪府内にある市町村単位の 子ども食堂ネットワーク組織

ネットワーク組織名	事務局（主体）	取り組み例
地域子ども食堂ネットワーク	大阪府社会福祉協議会	子ども支援活動を行っている団体やそれを支援する企業などが集まった連絡会を偶数月実施
平野みんな食堂ネットワーク	平野みんな食堂ネットワーク事務所 事業受託者（特定非営利活動法人キャンピ	井戸端会議・ネットワーク会議などの実施
さかい子ども食堂ネットワーク	堺市社会福祉協議会	
豊中市こども食堂ネットワーク	豊中市社会福祉協議会	
岸和田っ子を地域ではぐくむ居場所づくりプロジェクト	岸和田市社会福祉協議会	赤い羽根共同募金「岸和田あったか大家族募金」で市民の皆さんからの寄付を財源に助成金
ひらかた子ども食堂ファンクラブ	NPO法人ひらかた子ども食堂ファンクラブ	
とんだばやし子ども食堂・居場所づくり運営支援ネットワーク	富田林市社会福祉協議会 富田林市市民公益活動支援センター（NPO法人きんぎうえぶ） 富田林市 子育て福祉部 こども未来室	JAとの協定
門真市子ども食堂連絡会	協力：門真市社会福祉協議会	門真モデル：市民が「見守り役」
八尾市子どもの居場所づくり連絡会議	八尾市こども未来部こども政策課	
松原市子供の居場所づくりネットワーク	松原市社会福祉協議会	

大阪府内の市町村 子ども食堂に補助金・助成金 があるところ

大阪府 計43市町村の内

16市町村



大阪府全体を見て感じること

1. 堺市の特徴・先進性

→ネットワークの窓口が明確！

円卓会議など、多様なセクターが集まる機会が定期的にある。

2. 課題

→気になる子どもを見つけた時の専門機関との連携

校区の課題や、子ども食堂の規模感が違う中でのネットワークの継続性

企業からの支援などの継続性

●ネットワークだからこそ「課題を乗り越えていくために」できることを一緒に考えていく。

こども食堂円卓会議の意義 ～リジリエンス思考から社会構造を作る～

大阪府立大学 スクールソーシャルワーク評価支援研究所 所長
地域保健学域 教育福祉学類 教授
山野則子

<http://www.human.osakafu-u.ac.jp/ssw-opu/>

1

＜専門領域＞

子ども家庭福祉、スクールソーシャルワーク

＜研究テーマ＞

スクールソーシャルワークにおけるマクロ実践(プログラム評価に基づく研究)

子どもの貧困研究と政策展開

児童虐待防止ネットワーク、子育て支援

＜教育＞

児童領域におけるInter Professional Education(大学GP)

＜学会関係＞

日本社会福祉学会理事、日本子ども家庭福祉学会副会長

日本ソーシャルワーク教育学校連盟近畿ブロック運営委員長

＜国の委員＞

内閣府 子どもの貧困対策検討委員会構成員/有識者会議委員(2014年～)

文部科学省 中央教育審議会委員(2017年2月～)生涯学習分科会委員(2013年～)

厚生労働省 社会保障審議会児童部会委員(2017年度～)

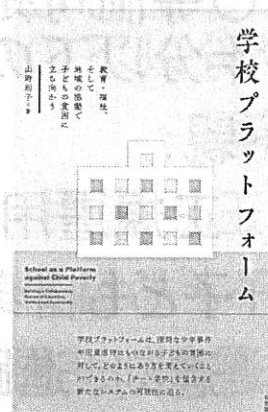
＜主な著書＞

「学校プラットフォーム」(単著 有斐閣 2018)

「エビデンスに基づく効果的なスクールソーシャルワーク」(編著 明石書店 2015)

「子ども虐待を防ぐ市町村ネットワークとソーシャルワーク」(単著 明石書店 2009) 2 11

プロフィール



孤立、貧困

子育て層全体の3分の1が孤立、貧困

→ 児童虐待

孤立・不安が虐待へ

貧困の30%以上が虐待へ

問題行動 → 学力低下 →

非行のうち70%が虐待、

ネグレクトの50%台(中)から30%台(小)が不登校

- ・学校では本人の問題行動という認識だが、背景に適応や成長が脅威を受ける経験(=逆境adversity)がある。

3

子どもの生活実態調査(大阪10万件調査:子どもの貧困)

○等価可処分所得の中央値以上郡と中央値の半分以下の群を比べると...

・親:

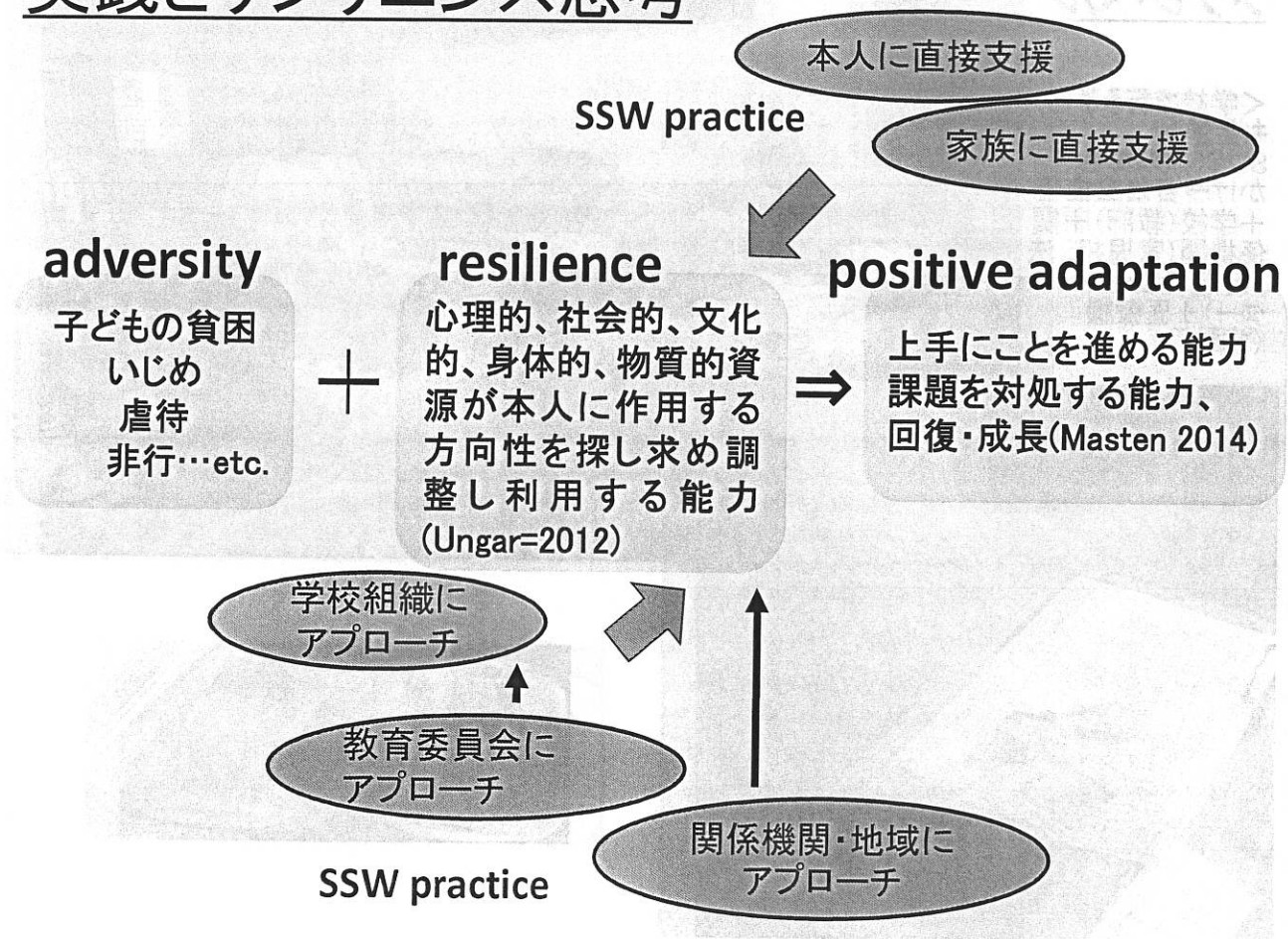
正規雇用→3分の1

・子ども自身:

遅刻、進路希望の中卒・高卒希望者、健康の引っ掛かり、地域のなかの家族以外の人との関り、学校以外の子どもの関り→倍

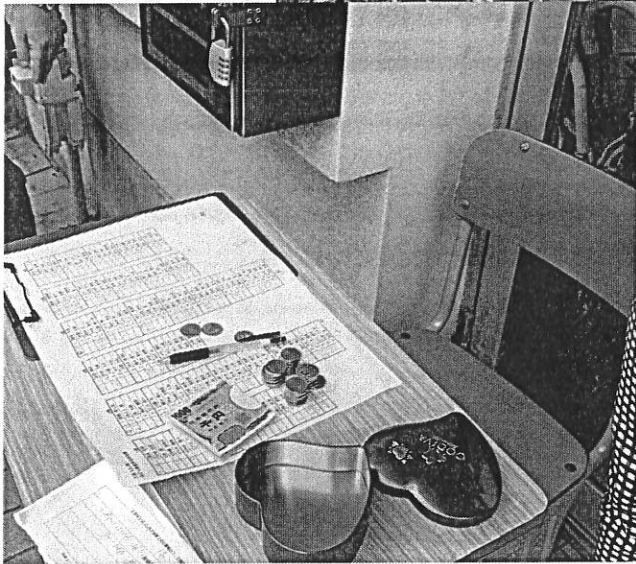
→ ヒューマンキャピタルの欠如へ

実践とレジリエンス思考



メゾレベル

＜学校で行う子ども食堂＞
SSW、CSWの働きかけ→自治会主催＋学校(教師)＋関係機関(家見相、法人、包括支援センター)＋医療機関(歯科医)



softberg W22



＋企業＋医療機関(歯科医)



地域に働きかけ



- ・企業の寄付: 歯ブラシ、簡易水道創設
- ・歯医者: 歯磨き後のチェック、そして教室へ
- ・PTA: ランドセルかけづくり、朝食づくり参加へ

遅刻が0に！ 学力向上！
親の意識変化！

自己組織性が高まるように働きかける＝リジリエンス

取り組みや支援など全体像が見える化し、家庭、学校、地域が相互補完できる。チャンスを各所に作る。

→人や地域の成長を促しダメージを防ぐ予防となる

ソーシャルワーカーの有用性
子どもの最善の利益をベースに
メゾ・マクロ実践の可能性

全体：自治体：①都道府県②市町村

個別：①市町村②学校や地域

- ①都道府県自治体が巻き込み全体化することで圏域内市町村が活発化する
- ②市町村が動くことで学校プラットフォームができていく
- ③学校が地域と協働できるようになると、子どものQOLが改善
学校(クリーニング)⇄地域 とつなぐ仕組みを作る

今までの実践例を子ども視点で見ると、
アントノフスキー (Antnovsky 1991) の「リジリエンシーの
発達が促進する」論考で考えると・・・

・安定性

安定した親密なかつ思いやりのある関係、社会資源を考える

例：親や身近な大人と支持的な関係を作る

・負荷バランス

ストレスと良好な負荷バランスを保持する

例：ひとりでいる時間を減らす

・参加

環境に参加し貢献する機会を持つ

例：居場所において役割を持つ

対話とコラボレーションが上記を作る
＝リジリエンス環境を作る